

# 金沢市姉妹都市交流委員会 国際親善ニュース



山出市長と閩立蘇州市長



宋河珍全州市長を団長とする全州市代表団を迎える山出市長と中西議長

# し まい と し こ う えん 姉妹都市公園

## ジョン ジュ シ かい えん 全州市コーナー開園

金沢市の姉妹都市を紹介する姉妹都市公園に、2009年6月に一番新しい姉妹都市である全州市のコーナーが開園しました。これで、姉妹都市7都市が全て揃ったことになり、姉妹都市公園の魅力がさらにアップしました。皆さん、ぜひ遊びに来てください！！

### 「全州市コーナー」贈呈物設置団来沢

全州市コーナーが開園することを記念して全州市より「全州伝統音楽パンソリ詠唱像」と「池の入水口龍像」が贈呈されました。開園式に先立ち2009年5月27日～29日、宋彩玉・全州市創意革新課国際協力チーム長、贈呈物の作者である鞠旻旰氏など「全州市コーナー」贈呈物設置団が来沢し、贈呈物を全州市コーナーに設置しました。



全州市から贈呈された「全州伝統音楽パンソリ詠唱像」

### 「全州市コーナー」開園式開催

2009年6月7日（日）、姉妹都市公園にて宋河珍・全州市長を始めとする全州市代表団出席のもと、「全州市コーナー」開園式が行われました。

開園式終了後は、全州市からのビッグプレゼントとしてパンソリの披露と韓国料理による立食パーティー「茶菓フェ」が用意されました。



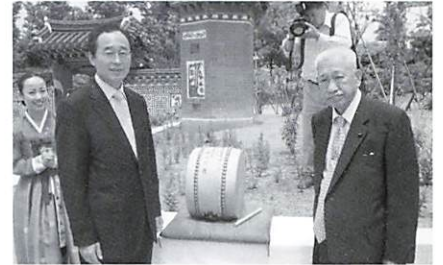
茶菓会（タグアフェ）の様子



宋市長によるサプライズパンソリ公演の様子

に指定されている韓国伝統音楽で全州はパンソリが非常に盛んです。唱者（歌手）と鼓手（太鼓の伴奏者）が奏でる美しい愛の歌に、開園

式参加者一同酔いれました。パンソリでは、宋河珍・全州市長によるパンソリ披露というサプライズもあり



全州市長から寄贈された太鼓と記念撮影

ました。さすが伝統文化都市・全州市長！なかなか見事な歌声でした。パンソリ終了後には、今回の公演で使用した太鼓が贈呈されました。

また、韓国では、開園式の後、簡単な韓国料理を参加者に振舞う「茶菓会」と呼ばれる立食パーティーを行うのが一般的とのこと。テーブルにはチヂミやキムチ、韓国式のり巻きなどおいしい韓国料理に、みんな舌鼓を打ちました。



全州市コーナーにて記念撮影

この日は、伝統文化都市・千年全州の文化と食を存分に堪能した1日となりました。

なお、全州市の代表団は、2009年6月5日～8日までの本市滞在中に市長表敬訪問、百万石まつりや本市施設を視察するなどして交流を深めました。

### ※姉妹都市公園概要

所在：金沢市駅西新町3丁目地内  
(西小学校隣)

面積：約18,800㎡

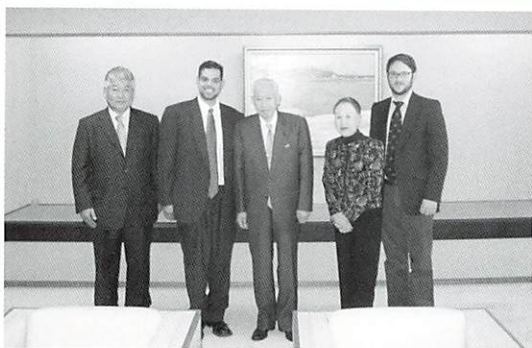
入場：無料

利用時間：8:00～19:00



全州市コーナー全景

# バッファロー 【アメリカ合衆国】



バッファロー代表団表敬後の写真

**提携** 1962年（昭和37年）

**人口** 28万人

**面積** 105km<sup>2</sup>

五大湖のひとつ、エリー湖の東にあり、ニューヨーク州西部の政治、経済、教育、文化の中心地。製鉄・製粉などの工業都市として発展した。「五大湖の女王都市」とも呼ばれ、オルブライト・ノックス美術館、1846年創立の州立大学バッファロー校や広大なデラウェア公園があるほか、著名な建築家フランク・ロイド・ライト設計の建物が6つ現存するなど、文化と学術のまちでもある。有名なナイアガラの滝は、北西25kmの所にある。

## バッファロー代表団 来沢

2009年10月11日から21日までの間、バッファロー・金沢姉妹都市委員会の道井孝子会長はじめ、庭園技師、景観設計技師で構成されるバッファロー代表団が研修のため、金沢に滞在しました。

バッファロー市のデラウェア公園には、1974年に金沢市との友好の証として日本庭園が整備されています。その庭園維持のため、昨年は金沢市より日本庭園造園技師団を派遣して技術指導を行い、今年はバッ

ファロー市よりデラウェア公園を管理する方を受け入れ、日本庭園について研修を行いました。滞在中は、様々な日本庭園を視察したり、雪吊り等の庭園技術や背景となる日本文化について理解を深めました。帰国後は研修の成果を活かし、日本庭園の松の木に雪吊りを施した、との便りも届いています。

また、同期間中、バッファロー・ステート・カレッジから陶磁専門のウッド教授も来沢し、金沢美術工芸大学で研修を受けました。

# イルクーツク 【ロシア連邦】



森副市長とヒツェンコ副市長が参加した日ロ沿岸市長会

**提携** 1967年（昭和42年）

**人口** 58万人

**面積** 302km<sup>2</sup>

バイカル湖（世界遺産）の南にある中部シベリア最大の都市で、イルクーツク州の州都。天然資源が豊かで、機械、木材、食品などの工業が発達している。アンガラ川沿いに広がる市街は、美しく落ち着いた雰囲気から「シベリアのパリ」とも呼ばれる。市内には、イルクーツク大学をはじめとした学術施設、先端技術の研究所や工場などが数多くあるほか、市民の文化・芸術活動も盛ん。

## イルクーツク市長が交代



1997年11月からイルクーツク市長を務めたウラジーミル・ヤクボフスキー・イルクーツク前市長が、2009年10月28日、イルクーツク州議会によりロシア連邦院議員に任命されたことに関連し、2010年3月14日、イルクーツク市長選挙が実施され、コンドラシヨフ・ヴィクトル氏（48歳）が当選し、新市長に就任しました。

## イルクーツク市中学生親善団受入事業の中止

2009年夏季に実施を予定していたイルクーツク市中

学生親善団の受入は、新型インフルエンザの影響で中止されました。

### Topics

#### 「第22回日ロ沿岸市長会」に副市長を派遣

2009年8月17日から24日にかけて、函館市で第22回日ロ沿岸市長会が開催されました。日本側からは18市、ロシア側からは姉妹都市イルクーツク市を含む10市の参加があり、金沢市からは森副市長以下2名を派遣しました。森副市長は、会議において本市の観光政策に関する発言を行うとともに、同会議に出席したイルクーツク市のニコライ・ヒツェンコ副市長と意見交換等も行い、両市の関係を深めました。

#### 石川県ロシア協会が友好交流団をイルクーツク州へ派遣

2010年3月3日から7日にかけて、石川県ロシア協会は、友好交流代表団（12名）及び友好交流パレエ団（42名）を、イルクーツク州へ派遣しました。代表団は、イルクーツク市庁舎に表敬訪問し、金沢市長から託された親書を手交するとともに、友好交流パレエ団は、イルクーツク市を含む同州で3回公演を行い、友好を深めました。

# ポルト・アレグレ 【ブラジル連邦共和国】



ポルト・アレグレ市庁舎

- 提携** 1967年（昭和42年）
- 人口** 142万人
- 面積** 470km<sup>2</sup>

ブラジル南部最大の都市で、リオ・グランデ・ド・スル州の州都。豊かな農牧地帯とリオデジャネイロに並ぶ良港を持ち、米、ワイン、たばこ、畜産物などの生産のほか、木材、毛織物、金属等の工業も盛ん。四季ははっきりしていて、グウィーバ川沿いに広がる市街は、美しいバトス湖や街路樹に彩られる。まちの入口では、この地のシンボルのガウショ（カウボーイ）の像が訪れる人々を出迎えている。

## ジョセ・フォガサ市長と初対面

2009年9月23日にフランス・パリで開かれた「全仏市長会・第9回都市会議」に出席していた山出市長とジョセ・フォガサ市長の初めての対面が叶いました。

フォガサ市長は2008年に再選を果たし、2009年1月より2期目を務めています。両市長は今回の対面を喜び、今後の交流の発展を願いました。山出市長はフォガサ市長に親書を渡し、金沢への訪問を呼びかけました。

## Ghent, Kingdom of Belgium

# アントワープ 【ベルギー王国】



創造都市フォーラムでアントワープについて話すラポルト氏

- 提携** 1971年（昭和46年）
- 人口** 23万人
- 面積** 156km<sup>2</sup>

フランダース地方の中心都市で、今も中世の面影を色濃く残す芸術・文化のまち。別名「花の都市」とも呼ばれ、花の博覧会「アントワープ・フローラリア」は世界的にも有名。アントワープ港はヨーロッパ屈指の内陸港で、繊維、鉄鉱などの産業が発達した。1816年創立のアントワープ大学やアントワープ美術館のほか、多くの博物館や旧跡があり、中でも、鐘楼やベギン会修道院などは世界遺産に指定されている。

## ユネスコ創造都市ネットワーク・両市そろって登録認定

2009年6月8日、金沢市はユネスコ創造都市ネットワークの「クラフト&フォークアート分野」に、そして同じ日にアントワープ市は同ネットワークの音楽分野に登録されました。金沢市とアントワープ市は、これまでの姉妹都市としての交流にとどまらず、同じユネスコ登録都市として新たな側面での交流を目指します。

2009年10月16日に開催された世界創造都市フォーラムinKANAZAWAでは、アントワープ市文化・観光・祝祭担当局長顧問カトリース・ラポルト氏が来訪し、パネリストとして参加しました。

し、美大の学生交流および美術館同士の交流促進に同意しました。その協定に基づき、今年以下は以下の交流が実施されました。

### 【美大の学生交流】

2009年10月14日～12月22日  
アントワープ王立美術アカデミー修士過程1年（彫刻専攻）  
カロリーナ・ヴィンケ・モスケーラさん  
アントワープ市からの短期交換留学生第1号として金沢美大に滞在

### 【美術館学芸員交流】

2009年5月23日～11月23日  
金沢21世紀美術館 鷺田めるろ学芸員  
アントワープ現代美術館へ派遣

## 美大と美術館・2つの新たな交流

2008年に金沢市とアントワープ市は新しい協定書に調印



# ナンシー【フランス共和国】



9月の日仏合同推進会議に出席する山出市長

- 提携** 1973年（昭和48年）
- 人口** 10万人
- 面積** 15km<sup>2</sup>

フランス東部の中心都市で、12世紀中頃からロレーヌ公国の都として栄えた。機械、織物、クリスタルガラスなどの産業が発達しており、20世紀初頭の芸術運動アール・ヌーボー発祥の地としても有名。現在は学生数3万人の学術都市として、また、国際的な演劇祭や音楽祭、国立バレエ団がある芸術都市として発展している。スタニスラス広場などが世界遺産に指定されている。

## 第2回日仏自治体交流会議への取り組み

2010年5月に金沢市で第2回日仏自治体交流会議が開催されます。この会議では日仏の姉妹・友好関係にある約40の自治体等が集まり、日仏共通の課題について議論します。この会議の開催準備のため、2009年には以下の準備会議が開催されました。

- ・2009年5月27日 仏側推進委員会会議（於：パリ市）
- ・2009年9月23日 日仏合同推進会議（於：パリ市）  
（※山出市長が訪仏。上記会議および同日開催の「全仏市長会・第9回都市会議」に出席）
- ・2010年2月9日 日仏合同実務者会議（於：金沢市）

## 交換留学制度が例年化する

ナンシー市と金沢市は1973年の姉妹都市提携以来、留学生の相互派遣を継続して行っています。これまでは一年おきの派遣・受入でしたが、留学の機会を増やすことで相互理解と交流をより深めることを目指し、2009年からは毎年の派遣・受入を実施することとなりました。

金沢市からは、19人目の留学生として館葉月さん（金沢美術工芸大学・工芸科染織コース）が2009年10

月よりナンシー国立高等美術学校で勉強を始めました。

ナンシー市からは、18人目の留学生オレリー・ムワマさん（ナンシー国立高等美術学校）が、2008年10月から2009年8月までの金沢美大での留学期間を終え帰国しました。また、19人目の留学生バスティアン・ルーランドさん（ヴァルセル職業専門学校）が2009年10月より金沢市で勉強を始めました。ルーランドさんは、卯辰山工芸工房と金沢美大の両方で漆技術を学んでいます。

## ナンシー・エコール・デ・ミンヌ校より学生インターンを受入

高等専門教育機関ナンシー・エコール・デ・ミンヌ校1年生のバーバラ・フライリンクさんが、2010年2月1日から3月12日まで6週間、日機装株式会社金沢製作所でインターンを体験しました。これは日本で研修を受けたいという本人の要望を受け、日機装株式会社のご協力のもとで実現したものです。このインターンは就業体験を通じて実際の会社の雰囲気や仕組みを理解することが目的で、フライリンクさんはフランスと異なる日本企業の仕組みを興味深く学びました。



卯辰山工芸工房で学ぶバスティアン・ルーランドさん



研修生バーバラ・フライリンクさん

# 蘇州【中華人民共和國】



蘇州美術館代表団市長表敬訪問

**提携** 1981年（昭和56年）

**人口** 630万人

**面積** 8,488km<sup>2</sup>

約2500年前、「呉」の国の都として築かれた古都。温和な気候と美しい自然に恵まれ、古くから景勝の地として知られる。美しい庭園と寒山寺などの名所旧跡が数多く、拙政園や留園など9カ所もの庭園が世界遺産に指定されている。食の地としても有名で、「魚と米の里」と呼ばれているが、近年は、シルクなどの特産品のほか、近郊に日本企業を含む多くの外国企業が進出し、めざましい経済発展を遂げている。

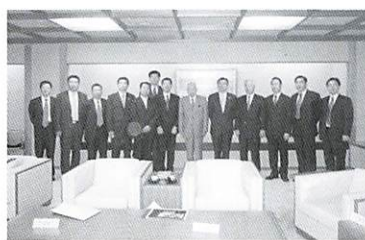
## 金沢市代表団が蘇州国際観光祭に参加

野島宏英・都市政策局担当部長ほか1名による金沢市代表団が、「第12回蘇州国際観光祭」に参加するため、2009年4月20日から26日まで派遣されました。金沢市代表団の蘇州国際観光祭への参加は、2004年、2005年に続いて3回目になります。

蘇州滞在中には、「第12回蘇州国際観光祭開幕式」に出席したほか、蘇州市内の歴史建造物を視察するとともに、蘇州市長表敬会見を行いました。

また、この機会に浙江省寧波市を訪れ、中国五山の一つであり、本市の大乗寺に縁のある天童寺などの調査等も行いました。

## 閻立・蘇州市長が来沢



閻立市長、表敬訪問時記念撮影

閻立・蘇州市長を団長とする蘇州市政府代表団14名が、2009年6月10日から11日まで来沢しました。閻立市長の金沢訪問は就任以来初めてとなります。

訪問団は滞在中に市長表敬訪問、市内視察を行って両市の親睦を深めました。

## 蘇州専門博物館代表団来沢

2009年8月5日から8月7日まで潘国英・蘇州市文物管理委員会弁公室副主任を団長とし、蘇州市内の博物館関係者で構成された蘇州専門博物館代表団が来沢し、石川県立



蘇州専門博物館代表団市長表敬訪問

歴史博物館や金沢21世紀美術館などの市内の博物館等文化施設を視察しました。また、滞在中に市長表敬訪

問も行い、両市間の姉妹都市交流の促進を確かめました。

## 蘇州美術館代表団来沢

蘇州市では、手狭で古くなった旧蘇州美術館にかわって新しい蘇州美術館を建設し、2010年度に開館予定です。この新しい美術館における所蔵品の保存技術、美術作品の調査・研究方法、美術館の運営方針等の参考にするため、2009年10月8日から9日まで夏

晓明・蘇州美術館館長／蘇州文化館館長を団長とする蘇州美術館代表団が金沢を訪問しました。金沢滞在中に、市長表敬訪問、市内視察を行うとともに、金沢21世紀美術館を訪問・視察し、秋元雄史・金沢21世紀美術館長と会談して情報交換を行いました。



夏晓明・蘇州美術館長と秋元雄史・金沢21世紀美術館長

### Topics

#### 蘇州市から初めて協力交流研修員を受入れ

総務省などの支援により実施されている自治体職員協力交流事業を利用し、金沢市の国際交流業務等について学んでもらうため、姉妹都市・中国蘇州市から推薦を受けて金沢市へ派遣された中国蘇州科学技術学院・日本語講師を務めている趙銀平氏を、協力交流研修員として約10ヶ月間受け入れました。趙さんは5月26日に来日し、まず（財）自治体国際化協会が全体研修を受講しました。その後、6月15日に来沢し、国際交流課にデスクを置き、研修として、国際交流業務、文化施設のパ



趙研修員帰国挨拶

ンフレット等の翻訳業務、各課（所）での視察及び姉妹都市蘇州市をはじめとする中国からの代表団の対応など、市政に関する幅広い分野の経験をしてもらいました。そして3月23日

に、金沢市長に研修の成果を報告した後、3月29日に帰国しました。なお、趙氏は、この事業の研修員としては5人目、中国からは初めての研修員でした。

# 全州【大韓民国】



「第8回伝統工芸作家交流展」開会式

**提携** 2002年（平成14年）

**人口** 64万人

**面積** 206km<sup>2</sup>

「後百濟」の都で、千年余の歴史を持つ古都で全羅北道の道都。国指定宝物の豊南門や韓式家屋の保存地区など歴史遺産を数多く残している。周辺は豊かな穀倉地帯で、韓国の「食と文化の里」として知られ、王朝料理やビビンバップなどの食文化、伝統音楽パンソリに代表される国楽の中心地である。「韓紙」「合竹扇」などの伝統工芸品のほか、国際映画祭・スポーツ大会などを通じ、国際都市としての発展しており、韓国政府によって「伝統文化都市」の指定をされている。

## 豪華な金箔金箔と加賀友禅を全州市民に紹介



第8回伝統工芸作家交流展

2009年8月25日から30日に全州市の校洞アートセンターで開催された「第8回伝統工芸作家交流展 金箔金箔・加賀友禅招待展」に参加するため、加賀友禅作家の濱田泰史氏と糸目糊置き加賀友禅職人の中島良二氏と金沢市国際交流課職員1名を派遣しました。

この展示会は、2002年の姉妹都市提携後、全州市の（社）韓紙文化振興院の間で毎年相互に双方の都市で開催しているもので今年で8回目になります。

展示会場では、金箔金箔作品（約27点）と加賀友禅作品（約17点）が展示され、絢爛豪華な加賀百万石の伝統工芸品が全州市民を魅了しました。また、濱田、中島両先生による加賀友禅の重要な工程である

糸目糊置きと手描彩色の実演が行われました。絹織物に刺しゅうや金箔などをほとんど使わず染色のみで美しい絵柄を描き上げていくという加賀友禅の秀でた技



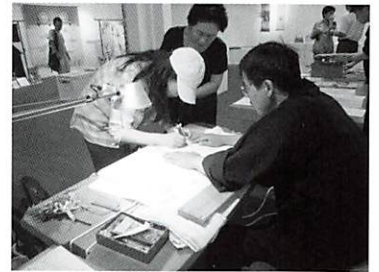
濱田先生による手描彩色実演

法に、全州市民らはみな目を丸くしていました。

加賀友禅の両先生方も会場を訪れた市民の方々ににこやかに話しかけたり、簡単な彩色や糸目糊置きを体験さ

せてあげたりして、積極的にコミュニケーションをとっていらっしゃいました。

今回の展示会を通して、両市民のより一層の相互理解と友情の輪を拡げることができました。



中島先生と糸目糊置きに挑戦

## 「2009全州名品・生活工芸展」を開催

2009年10月16日から25日に金沢・クラフト広坂にて「2009全州名品・生活工芸展」を開催しました。これは、おしゃれメッセ2009の協賛イベントとして開催されたもので、日本の和紙にあたる韓紙で作成された工芸品のほか、韓紙糸製品を展示・販売されました。

韓紙糸とは、韓紙を原料に作られた糸で、この韓紙糸で制作された製品にはYシャツ、靴下、ネクタイ、下着等があり、遠赤外線効果、抗菌性等が優れているといわれています。

この展示会に参加するため、吳英澤・全州工芸品展示館館長を始めとする「全州工芸品展示館おしゃれメッセ2009参加団」4名が来沢しました。



「2009全州名品・生活工芸展」展示会場風景

# 大連 [中華人民共和国]



伝統芸能交流まつりフィナーレ

**提携** 2006年(平成18年)

**人口** 583万人

**面積** 12,574km<sup>2</sup>

遼東半島最南端に位置し、中国東北部を代表する港湾工業都市で、貿易金融の中心都市。総延長 1,900 kmにおよぶ美しい海岸線と起伏に富んだ地形に恵まれた風光明媚で活力溢れ、『ロマンの都』『北方の真珠』とも称えられるファッションとサッカーをイメージした戦略で知られる観光都市でもある。

また、船舶・鉄道車両などの工業分野でも大きな発展を遂げるとともに、郊外に位置する「経済技術開発区」を中心に、3,300社以上の日系企業が進出しており、先端技術の発展を目指す今日の大連市は、北東アジアにおける重要な国際航空センターと国際都市の建設に適進している。

## 中国伝統楽器で会場を魅了

### ～「大連の日」伝統芸能交流まつり～

大連市が2007年に「金沢の日」を設定しました。金沢市でもその返礼として、また、友好交流都市提携3周年を記念して、2009年9月23日を「大連の日」として、金沢市民芸術村パフォーミングスクエアにて「伝統芸能交流まつり」を開催しました。「伝統芸能交流まつり」では、大連大学音楽学院の若く美しく才能あふれる皆さんが中国伝統楽器による演奏で会場を魅了しました。そのほか、大連市の姉妹都市である北九州市と舞鶴市からの伝統芸能団や金沢市の伝統芸能団も参加し、お互いの伝統芸能・文化の交流を通して、理解と友好を深める場となりました。



「伝統芸能交流まつり」に参加するため、王智超・大連市外事弁公室副主任を団長とする大連大学生芸術代表団10名が2009年9月21日から26日までの日程で来沢しました。

一行は、「伝統芸能交流まつり」以外にも、湯涌小学校・芝原中学校を訪れて素晴らしい演奏を披露してくださいました。児童らも返礼として勇壮な和太鼓を演奏したり、中国語の歌詞で「ふるさと」を合唱したりしました。また、金沢市役所も表敬訪問し、森源二・副市長と歓談しました。

今回の一行の訪問は、伝統芸能を通して両市の国際理解、友好交流の発展に大きく貢献するものとなりました。



なお、「伝統芸能交流まつり」に参加した団体は以下のとおりです。

- ・大連市 大連大学音楽学院
- ・北九州市 小倉祇園太鼓保存振興会 米町一丁目
- ・舞鶴市 クレイنز' 舞太鼓
- ・金沢市 加賀鳶はしご登り保存会
- 桂町獅子保存会
- 加賀万歳保存会
- 二俣いやさか踊り保存会



湯涌小学校・芝原中学校交流訪問

# Topics

## (財)金沢国際交流財団「地域コーディネーター事業」

地域の中で外国人市民と日本人市民をつなぐことを目的とした「地域コーディネーター事業」では、外国人市民が多く暮らす市内3地区にて活動を行ってきました。

留学生家族が多く暮らす大桑地区では、地域コーディネーターが町会と連携しながら、夏祭りや防災訓練など地域行事の中で外国人市民と日本人市民の接点づくりを行ってきました。近隣の専門学校に通う留学生や中国帰国者の方が暮らす扇台地区では、地域コーディネーターが2009年10月から扇台公民館にて近隣の日本人市民と外国人市民がお茶を飲みながら、気軽に交流できる場づくりをしてきました。留学生家族が多く暮らす田上地区の地域コーディネーターは、地域の関係機関の方々や外国人市民から聞き取りを行いました。その結果を踏まえ、2月に金沢大学の学生と連携し、地域の特色を生かした「日本語交流ひろばin田上」を立ち上げました。3地区では今後も地域の関係機関と連携しながら、定期的な「日本語交流の場」にて日本人市民と外国人市民が隣人として出会い、つながる取り組みを進めていきます。また「地域コーディネーターセミナー2009」には、約20名が受講しました。



地域コーディネーター

セミナーの卒業生やこれまで関わって下さっている方々とともに、今後も地域コーディネーター事業をさらに進めていく予定です。

## 金沢にある色々な文化を発見しよう！

金沢国際交流財団では、国際交流員による国際理解講座を実施しています。特に子どもたちを対象に、国際交流員が外国人市民を始めとする金沢に暮らす多様な人々との出会いや、その方たちが持つ文化に触れることで、身近な異文化理解につなげる講座「金沢にある色々な文化を発見しようシリーズ」を3回シリーズにわたって開催しました。第1回はアメリカの国際交流員による「英語を話す人たちとゲームで遊ぼう!」、第2回は韓国の国際交流員による「仲良く学ぼう! 食べよう! 弾こう! アンニョン韓国」、第3回は



「仲良く学ぼう! 食べよう! 弾こう! アンニョン韓国」

はベルギーの国際交流員による「わくわく楽しく国際交流 ベルギーってどんな国?」です。各回の講座は金沢で暮らす外国人市民や、外国のルーツをもつ子どもたちを支援する

グループと一緒に企画・運営しました。国際交流員は母国の紹介をゲームや音楽を使って楽しく紹介しながら、参加した子どもたちに金沢にある多様な文化背景をもった人々との出会いや、その方たちのもつ文化を体験、交流する機会を提供しました。

詳細は、当財団のKIEFニュースNo.63、64、65に掲載されていますので、ぜひご覧ください。

## 中東和平プロジェクトin金沢

2009年7月30日から8月5日までの間、イスラエルとパレスチナの紛争で家族を亡くした高校生(高校生各5名、引率者各1名 計12名)を招き、中東和平プロジェクトin金沢が開かれました。期間中、駐日イスラエル大使や駐日パレスチナ常駐総代表部一等書記官も来沢しました。

7月30日(木) 日本到着、来沢

市長表敬訪問

7月31日(金) 金沢市内見学

歓迎夕食会

〔ホームステイ〕

8月1日(土) 市民交流会

ホストファミリーとの時間

〔ホームステイ〕

8月2日(日) 青少年交流会

さよならパーティ

8月3日(月) 東京都内見学

8月4日(火) 首相、参議院議長表敬訪問

8月5日(水) 日本出発



# 国際交流ダイアリー

## 4～6月

- 4月27日 全国広報啓発キャラバン隊（青年海外協力隊応募促進支援キャンペーン） 来訪
- 5月7日 駐日ドイツ大使 来訪
- 5月8日～11日 韓国旅行ガイドブック出版社「ランダムハウスコリア」取材陣 来訪
- 5月29日 駐日ハンガリー大使 来訪
- 6月10日 駐大阪・神戸アメリカ総領事 来訪
- 6月19日 金沢市出身青年海外協力隊員 出発挨拶

## 10～12月

- 10月9日 全州市柔道会金沢訪問団 来訪
- 10月19日 大連市環境保護局訪問団 来訪
- 10月21日 駐日イタリア公使 来訪
- 10月22日 駐新潟大韓民国総領事 来訪
- 11月11日 蘇州市青年連合会訪問団 来訪
- 11月24日 ゲント王立美術アカデミーからの短期留学生 来訪
- 12月1日 蘇州日報社訪問団 来訪
- 12月17日 金沢市出身青年海外協力隊員 出発挨拶
- 12月18日 全州市立交響楽団訪問団 来訪

## 7～9月

- 7月10日 大韓民国江原道鐵原Cheorwon少年少女合唱団 来訪
- 7月13日 大連中日教育文化交流協会訪問団 来訪
- 7月31日 駐日イスラエル大使 来訪
- 7月31日 駐日パレスチナ常駐総代表部一等書記官 来訪
- 8月26日 金沢市早朝ソフトボール連盟 第10回韓国ソフトボール交流友好訪問団 出発挨拶
- 9月17日 金沢市出身青年海外協力隊員 出発挨拶

## 1～3月

- 1月29日 在京都フランス総領事 来訪
- 2月9日 在フランス日本国特命全権大使 来訪
- 3月2日 駐日スウェーデン大使 来訪
- 3月17日 金沢市出身青年海外協力隊員 出発挨拶
- 3月23日 大連三寰集団有限公司訪問団 来訪



8月24日 ナンシー交換留学生出発挨拶・帰国挨拶

# 国際交流員の一年

## カール・シャックマン(アメリカ)



Hello Everyone!

皆さんの8月より新しく配属された国際交流員の  
カール・シャックマンと申します！金沢に到着し  
た時、こんなに緑に恵まれた街で暮らせるなんて夢のようだと  
思いました。金沢で暮らしているうちに金沢は緑で溢れている  
だけではなく、日本の歴史そのものが今でも息づいていること  
を観察しました。立派に残っている伝統的な建造物や江戸時代  
へ戻れそうな茶屋街など、街中は近代的でありながらも伝統文  
化と歴史が共存している金沢にあこがれました。

これまで国際交流員としての仕事を通して金沢や加賀藩か  
ら伝わる伝統工芸のことを学んだり、市民の皆さんのおもて  
なしの心に触れながら様々な事業を行ってきました。10月  
には通訳者として金沢の姉妹都市であるバッファロー市から  
研修を受けにこられた二人の造園技師の方と一緒に行動し、  
日本庭園を管理するための技術や意義を聞くこともできまし  
た。その後、日本庭園や杉を見るたびにちゃんと剪定されて  
いるかを調べたり、物の位置とその意味を考えたりしていま  
す。

今年7月には帰国するので、私にとってはこの一年間が  
最初で最後の一年です。残りの時間にベストを尽くすため  
に、できるだけ多くの市民の方々にアメリカのことを伝え、  
そして自分自身もより多くの日本文化や日本人の視点などを  
つかむために頑張りたいです。

## ガネム・モハメド(フランス)



Bonjour à tous !

去年の8月から金沢市国際交流課に勤めてい  
るフランス人のガネム・モハメドです。

金沢に来てからもう半年になりました。日本の生活にはほ  
とんど慣れてきたと言えるのに、冬の北陸の寒さに異常に驚  
きました。ただ、これからは春の暖かさがどんどんみんなの  
心を陽気にするでしょう。

私は今までアルバイトやインターンの経験だけしかなかっ  
たし、前回フランス人の国際交流員が金沢に任命されたの  
は10年前ほどのことであつたし、金沢で社会人になることにな  
った時、最初は未知のことに対して期待も不安も抱きまし  
た。しかし、来沢してからフランス文化の愛好家が多くて、  
嬉しい驚きを感じました。

フランス北部のアミアン市出身ですが、主な仕事は金沢市  
と姉妹都市であるナンシー市をつなぐことです。その日仏関  
係に関する取り組みの1つは、今年5月金沢で開催される第  
2回日仏自治体交流会議です。この会議の成功に向けて一所  
懸命努力したいです。

国際交流員の仕事というのはデスクワークだけではなく、  
金沢の市民とエクステンジする作業も多いです。これから  
も、学校や公民館などで様々なイベントを推進したいと思  
います。特に、今年フランス語講座や演劇に関するイベント  
を企画できれば幸いです。

## ソフィー・ボックラント(ベルギー)



皆さん、こんにちは！まだいますよ！金沢市  
国際交流員の中で4年目を勤めているのは、私  
が初めてです！最後の再契約も決めたので、  
2011年8月に金沢市を立つ予定です！その時までどうぞ宜し  
くお願いします！

4年目でも、仕事面でのチャレンジがまだ多くあります。  
2009年6月に金沢市がUNESCO創造都市ネットワークのク  
ラフト分野に登録されたと同時に、ベルギーの姉妹都市ゲン  
ト市も音楽分野で認定されました。この創造都市関係で交流  
プロジェクトがどんどん増えると思います。たとえば、10月  
に、アントワープ市が金沢市で開催された世界創造都市フォーラム  
に参加しました。加えて、アントワープ大学とアントワープ王立美術アカ  
デミーが金大と美大と交流をしており、ベルギーの留学生も  
金沢市へ来ています。私にとってオランダ語を話す機会がで  
き、とても嬉しく思います！

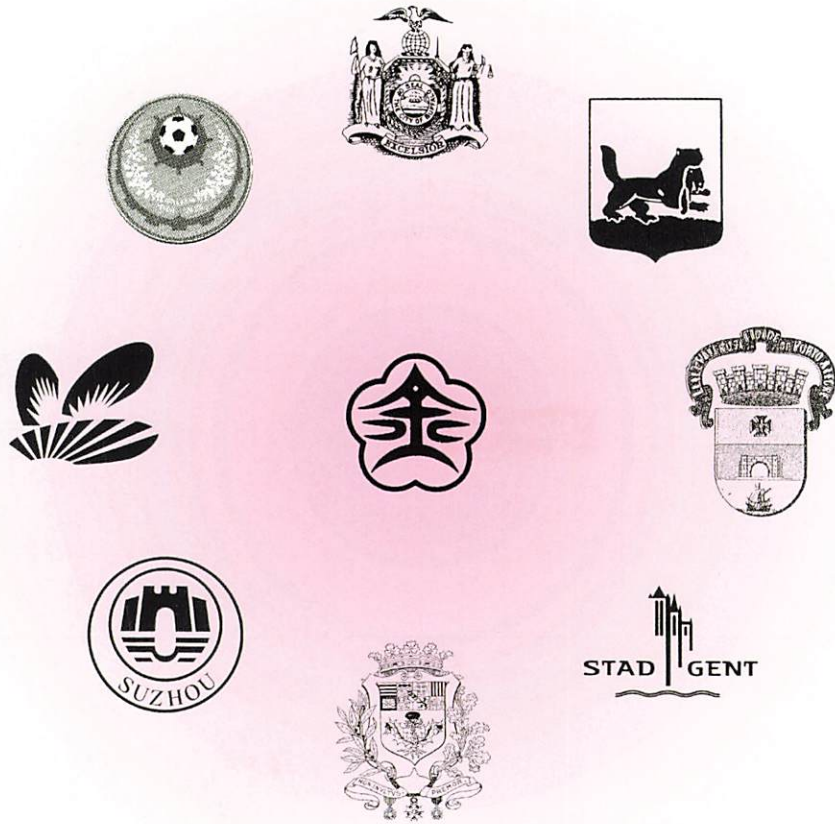
2010年5月に金沢市で第2日仏自治体交流会議を開催する  
ため、金沢市は一生懸命に準備を進めています。その関係で  
金沢市長が2009年9月にパリへ出張してきました。私にとつ  
てまたヨーロッパへ帰る良い機会でした！

2009年は個人的に一番思い出の深い年になりました：親が  
初めて日本へ来ました！桜の時期に一緒に本州を回って、特  
に現代と伝統を調和している金沢が印象的だと思ったよう  
です！2010年も皆さんにとって幸せの一年になりますように！

## 金 荷娜(韓国)



안녕하세요. 金沢での生活は2年目と  
なり、やっと仕事や暮らしが慣れてきた感じ  
です。2009年度には全州市代表団の金沢訪問、金  
沢市議会の全州訪問が行われ両市の友情を深めましたし、そ  
の他にスポーツ・文化などの民間交流も活発だったので両国  
の架け橋として胸がいっぱいになる1年でした。金沢市民に  
は韓国文化を料理・遊び・学校訪問などを通して紹介しまし  
た。韓流ブームから始まった韓国への関心を実感し、とて  
も嬉しかったです。プライベートでは、国内を旅して日本の  
所々を見て回ったり、キリコ担ぎ・着物試着・書道・和太  
鼓・餅つきなどの日本らしいものにも触れて、さらに日本文  
化に溶け込むことができました。歳をとるにつれ、人との出  
会いやつながりが人生で第一の財産であることを感じます。  
私が金沢に来て一番よかったと思うことも国境・歳・職業を  
越えた友達がたくさんできたことです。打ち解けた会話の中  
で相手の習慣や文化を学びお互いを自然に理解するようにな  
る、人との触れ合いからまことの交流が始まるのがよく分  
かりました。「賢い人は袖だけ触れても縁を生かす」という  
言葉を思い出しました。国際交流員を勤めて出会う人々との  
交流をこれからも大事にしていき、この草の根交流から金沢  
市と全州市、ひいては日本と韓国の交流に役立つ者になりた  
いです。



第36号 (2009・平成21年度)

発行 金沢市姉妹都市交流委員会

事務局：金沢市都市政策局文化交流部国際交流課

TEL 076-220-2075 FAX 076-220-2069

E-mail : kokusai@city.kanazawa.lg.jp